

# エコプラン平成29年度実績報告書

## 1. 温室効果ガス排出量算定結果

### (1) 温室効果ガスの排出削減目標

佐世保市では、市役所自らの業務によって排出される温室効果ガスを削減するため、「佐世保市役所エコプラン」(以下、エコプランという。)を策定し、地球温暖化防止に向けて取り組みを進めました。

エコプラン(第3次改訂版)では、平成25年度から平成29年度までの5年間の計画期間とし、平成29年度における排出量を、平成22年度比で6%削減することを目標としていました。温室効果ガス排出量が多い施設を有する事業ごとに部門別削減目標を設定し、エコプランの進捗管理は佐世保市環境マネジメントシステムで行いました。

エコプランの取り組みの基本的方針(「1 省エネ行動の実践」、「2 施設における省エネルギー化の推進」、「3 環境負荷の少ないエネルギーの利用推進」、「4 公用車における省エネルギー化の推進」、「5 ごみの減量化、資源化の促進」、「6 その他(事務用紙使用量の抑制や節水、グリーン調達等の推進等)」)に基づく活動とあわせて、「環境法規制の順守」や「公共工事の環境配慮」を対象とし、PDCAサイクルを活用した取り組みを行い、継続的改善を図ることで、市役所全体の目標達成を目指しました。

### (2) 平成29年度における温室効果ガス排出量

平成29年度における温室効果ガス排出量は、CO<sub>2</sub>換算で62,848,505kg-CO<sub>2</sub>でした。基準年度(平成22年度)における温室効果ガス排出量に比べ28.27%減少しました。

#### 【部門別の排出量(平成29年度)】

部門	対象施設		H22年度排出量 [kg-CO <sub>2</sub> ]	H29年度排出量 [kg-CO <sub>2</sub> ]	増減率[%]
事務	事業部門以外(交通を含む)		16,152,314	13,387,935	-17.11
事業	ごみ処理	環境部 施設課、西部CC、西部CC浸出水、西部CC資源化、西部CC灰溶解、東部CC、宇久環境センター、宇久清掃センター、宇久一般廃棄物最終処分	53,784,099	40,938,956	-23.88
	し尿処理	環境部 クリーンビューとどろき、宇久衛生センター	2,889,134	2,612,275	-9.58
	水道	水道局 水道事業(東部管理グループ含む)、北部管理事務所、宇久営業所、水道施設課、山の田浄水場、大野浄水場、柚木浄水場、広田浄水場	5,875,775	4,903,080	-16.55
	下水道	水道局 下水道事業課、下水道施設課・水質管理センター、下水処理課(施設使用分)	4,204,170	1,006,259	-76.07
	病院	総合病院 総務課、経営企画課、財務課、看護専門学校	4,714,071	0	-100.00
合計			87,619,563	62,848,505	-28.27

温室効果ガス種類別割合では二酸化炭素が95.85%と大半を占めており、排出原因では廃プラスチックの焼却によるものが53.84%、電気の使用によるものが31.42%を占めています。

排出量が減少した主な理由は、廃プラスチック焼却量が減少したこと。下水道部門や事務部門における複数施設の指定管理等への移行や、総合病院が独立行政法人となったことにより、エコプランの対象外となったことがあげられます。

なお、これらの要因は、総排出量への影響が大きいことから、条件として、①廃プラスチック含有量が平成22年度と同様。②総合病院を含む（実績把握している最新値平成27年度数値を反映）。③指定管理等を含む。以上3つの条件にて排出量を算出した場合は、総排出量が22年度比で-0.95%となり、排出量は微減となります。

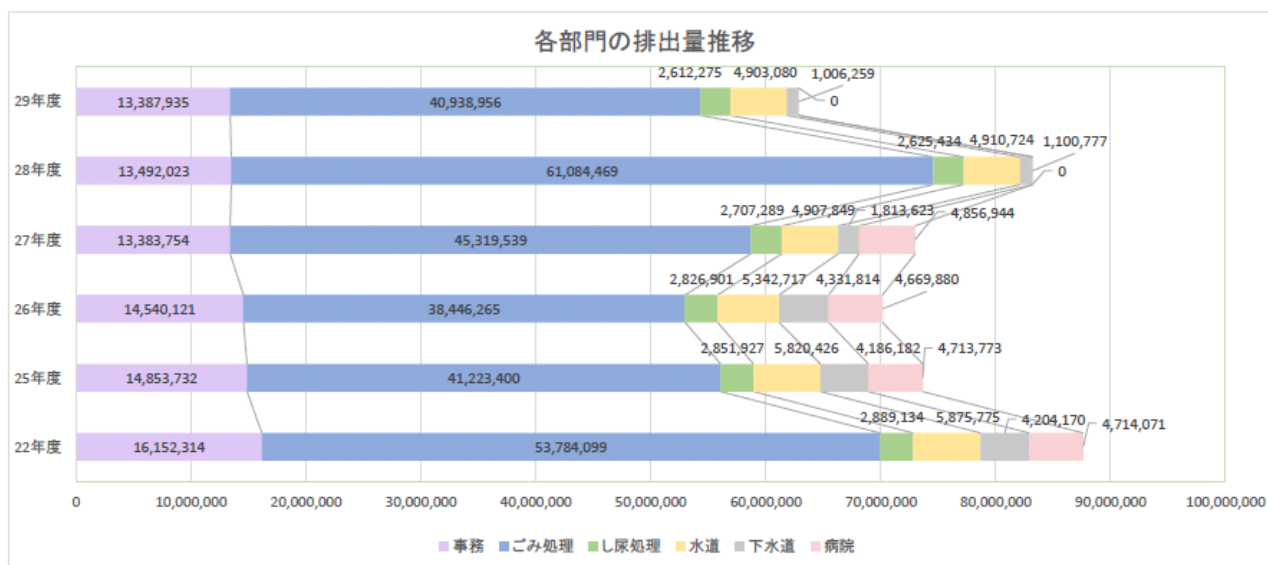
【温室効果ガス別内訳（平成29年度）】

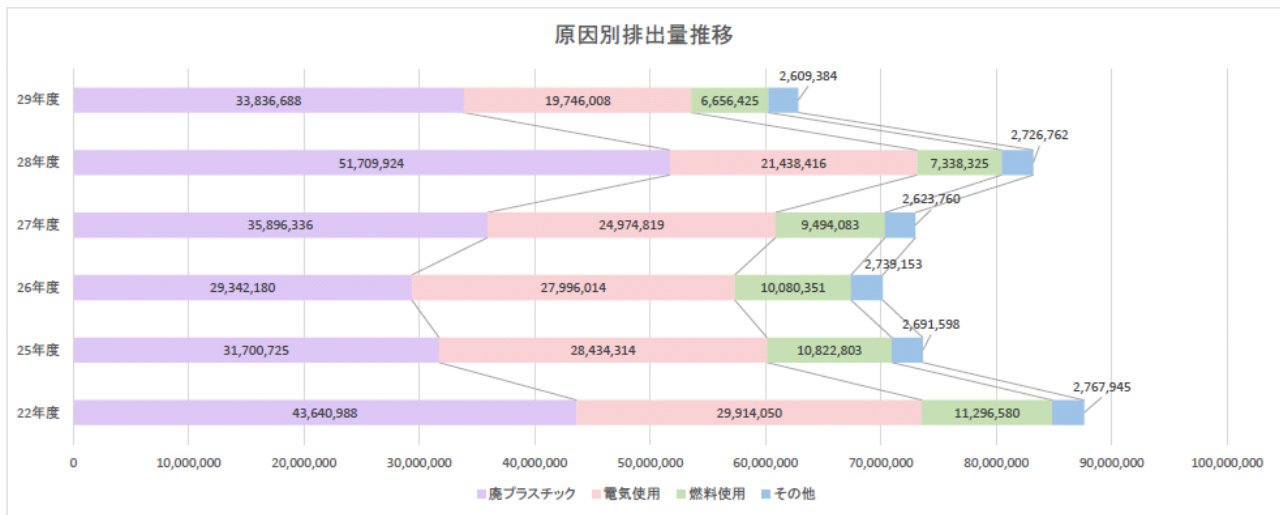
温室効果ガス名	排出量 [kg-CO <sub>2</sub> ]	構成比 [%]
二酸化炭素	60,239,121	95.85
一酸化二窒素	2,227,040	3.54
メタン	376,104	0.60
ハイドロフルオロカーボン	6,240	0.01

【排出原因による内訳（平成29年度）】

排出原因	排出量 [kg-CO <sub>2</sub> ]	構成比 [%]
廃プラスチックの焼却によるもの	33,836,688	53.84
電気の使用	19,746,008	31.42
燃料の使用	6,656,425	10.59
その他	2,609,384	4.15

(3) 年度における温室効果ガス排出量の推移





## 2. エネルギー使用量等実績

温室効果ガス排出量の削減目標を達成するため、エコプランの取組方針に基づき、各課かいにおいて、取組目標を設定し、環境活動を実施しました。全課かいで、エネルギー7項目（電気・ガソリン・軽油・A重油・灯油・都市ガス・LPG）の使用量、事務用紙使用量、水道使用量、可燃ごみ排出量の削減に取り組みました。

### (1) 目標値の設定について

エコプランにおいては、ガソリンを除く各エネルギー使用量の削減目標を部門毎（事務系、ごみ処理事業、し尿処理事業、水道事業、下水道事業、病院事業）に、ガソリン、事務用紙、水道、可燃ごみの削減目標を、共通で設定しています。

### (2) 平成29年度結果

取り組み結果は以下のとおりとなっています。下記の10項目のうち9項目（電気使用量、ガソリン使用量、軽油使用量、A重油使用量、灯油、都市ガス使用量、LPG使用量、事務用紙使用量、水道使用量）において順調に削減できています。可燃ごみ排出量は、佐世保市学校給食センターの新設が主な要因で増加しました。

#### 【総括 各エネルギー使用量等の削減割合】

全体	基準年度使用量	28年度		29年度	
		使用量	削減率 (22年度比) [%]	使用量	削減率 (22年度比) [%]
電気 [kWh]	77,698,839	55,684,204	-28.33	51,288,332	-33.99
ガソリン [L]	287,703	251,674	-12.52	247,344	-14.03
軽油 [L]	1,570,817	1,114,831	-29.03	1,080,565	-31.21
A重油 [L]	578,824	251,300	-56.58	205,810	-64.44
灯油 [L]	782,433	754,473	-3.57	563,745	-27.95
都市ガス [m³]	1,115,032	386,244	-65.36	403,022	-63.86
LPG [kg]	164,988	143,387	-13.09	135,437	-17.91
事務用紙使用量 [枚]	27,367,137	22,637,301	-17.28	23,340,293	-14.71
水道使用量 [m³]	316,684	234,449	-25.97	224,692	-29.05
可燃ごみ排出量 [kg]	63,297	74,656	17.95	65,132	2.90

【部門毎の各エネルギー使用量等の削減割合】

事務系	基準年度使用量	28年度		29年度		目標削減率 [%]
		使用量	削減率(22年度比) [%]	使用量	削減率(22年度比) [%]	
電気 [kWh]	22,162,894	19,741,641	-10.92	19,661,876	-11.28	-5.00
ガソリン [L]	287,703	251,674	-12.52	247,344	-14.03	-5.00
軽油 [L]	1,553,627	1,096,929	-29.40	1,065,237	-31.44	-5.00
A重油 [L]	257,694	149,200	-42.10	152,610	-40.78	-5.00
灯油 [L]	277,783	282,874	1.83	280,042	0.81	-5.00
都市ガス [m <sup>3</sup> ]	436,533	386,244	-11.52	403,022	-7.68	-5.00
LPG [kg]	158,367	141,464	-10.67	134,137	-15.30	-5.00

ごみ処理事業	基準年度使用量	28年度		29年度		目標削減率 [%]
		使用量	削減率(22年度比) [%]	使用量	削減率(22年度比) [%]	
電気 [kWh]	17,861,844	16,739,244	-6.28	12,459,964	-30.24	-10.70
軽油 [L]	17,120	17,670	3.21	15,188	-11.29	-10.70
A重油 [L]	164,400	101,600	-38.20	53,200	-67.64	-10.70
灯油 [L]	502,257	470,979	-6.23	283,102	-43.63	-10.70
LPG [kg]	2,961	1,419	-52.08	835	-71.80	-10.70

し尿処理事業	基準年度使用量	28年度		29年度		目標削減率 [%]
		使用量	削減率(22年度比) [%]	使用量	削減率(22年度比) [%]	
電気 [kWh]	7,137,732	6,454,312	-9.57	6,435,277	-9.84	-5.50
灯油 [L]	1,000	320	-68.00	200	-80.00	-5.50
LPG [kg]	642	218	-66.04	201	-68.69	-5.50

水道事業	基準年度使用量	28年度		29年度		目標削減率 [%]
		使用量	削減率(22年度比) [%]	使用量	削減率(22年度比) [%]	
電気 [kWh]	15,249,280	12,749,007	-16.40	12,731,215	-16.51	-5.00
軽油 [L]	0	232	22年度使用無し	140	22年度使用無し	-5.00
A重油 [L]	0	500	22年度使用無し	0	22年度使用無し	-5.00
灯油 [L]	1,000	100	-90.00	400	-60.00	-5.00
都市ガス [m <sup>3</sup> ]	354	0	-100.00	0	-100.00	-5.00
LPG [kg]	502	52	-89.64	68	-86.45	-5.00

下水道事業	基準年度使用量	28年度		29年度		目標削減率 [%]
		使用量	削減率(22年度比) [%]	使用量	削減率(22年度比) [%]	
電気 [kWh]	8,195,096	0	-100.00	0	-100.00	-7.00
軽油 [L]	70	0	-100.00	0	-100.00	-7.00
A重油 [L]	2,730	0	-100.00	0	-100.00	-7.00
灯油 [L]	393	200	-49.11	0	-100.00	-7.00
LPG [kg]	325	234	-28.00	196	-39.69	-7.00

病院事業	基準年度使用量	28年度		29年度		目標削減率[%]
		使用量	削減率(22年度比) [%]	使用量	削減率(22年度比) [%]	
電気 [kWh]	7,092,013	-	-	-	-	-5.00
軽油 [L]	0	-	-	-	-	-5.00
A重油 [L]	154,000	-	-	-	-	-5.00
灯油 [L]	0	-	-	-	-	-5.00
都市ガス [m <sup>3</sup> ]	678,145	-	-	-	-	-5.00
LPG [kg]	2,191	-	-	-	-	-5.00

### 3. 環境活動の取組目標の達成状況

温室効果ガス排出量の削減目標を達成するため、エコプランの取組方針に基づき、各課かいにおいて、取組目標を設定し、環境活動を実施しました。平成29年度の取組目標における、部局内各課の達成状況の評価の詳細は、別紙のとおりとなります。

#### (1) 省エネ行動

「業務の効率化、労働時間の短縮」については、不十分と評価した部局が2部局ありましたが、業務の都合上やむを得ないことや緊急性のある業務とのことで、全体的には概ね実施されていました。

#### (2) 施設における省エネルギー化

「高効率な設備機器の優先導入」についてはほぼ実施されていました。LEDへの交換を予定していた部署に関して、在庫の関係で実施できなかったところもありました。

#### (3) 環境負荷の少ないエネルギー利用

「再生可能エネルギーの率先導入」について、4部局において検討等されていました。太陽電池パネルでの発電、消化ガス発電による施設の運転、小水力発電の研究調査など行動されていました。

#### (4) 公用車における省エネルギー化

「エコドライブの徹底」、「効率的な運行管理」については、対象とする全部局で概ね実施されていました。「低燃費車の導入」については、予算上導入が難しく、引き続き検討中の部署もありました。

#### (5) その他

「ノーマイカーデーの実施」については、公共交通機関や家庭の都合上実施が困難なこともあり、2部かいで不十分との結果となりましたが、概ね実施できています。「事務用紙使用量の抑制」、「廃棄物の削減、リサイクルの推進」一部業務の関係にて増加した部署もありましたが、ほとんどの部局で概ね実施されており、その他の取組方針については、全部局で概ね実施されていました。

#### (6) 環境法規制等の順守

ほとんどの部局で遵守されています。一部の部局において遵守漏れ、届出漏れがありましたが、すでに対応済みです。

#### (7) 公共工事の環境配慮

対象とするすべての部局で実施できていました。

### 4. 研修

適切なEMSの推進を目的とし、職員の環境マネジメントシステムに関する理解を深めるため、下記の研修会を実施しました。

#### ・ 新人職員研修

(日時) 5月11日(木)

(対象) 新人職員(受講者 93名)

(内容等) 市役所における地球温暖化対策への取り組みについて

#### ・ 課長、EMS 実行委員研修

(日時) 5月19日(金)、5月22日(月)(受講者 342名)

(対象) 各課長及びEMS 環境実行委員

(内容等) 環境問題の現状、概要、運用のポイント 等

#### ・ 内部環境監査員養成研修

(日時) 11月9日(木)

(対象) 環境保全課計画係職員

(内容等) 環境基礎講義、内部監査の手順、内部監査のポイント、ケーススタディ演習 等

### 5. 平成29年度内部環境監査実施結果

#### (1) 監査実施日

平成29年11月22日(水)～平成30年1月29日(月)

#### (2) 監査対象課かい

被監査部門 41課かい

契約監理室 技術監理課

企画部 地域交通課、文化振興課、国際政策課

総務部	職員課
財務部	市民税課、資産税課、納税課、財産管理課・施設再編整備推進室、債権管理対策室
農林水産部	農林整備課
都市整備部	建築指導課
土木部	道路維持課
港湾部	みなと振興・管理課
市民生活部	コミュニティ・協働推進課、市民安全安心課、世知原支所
保健福祉部	長寿社会課、医療政策課、障がい福祉課、健康づくり課、東部芳世苑、医療保険課、保険料課、指導監査課
子ども未来部	子ども支援課、子ども育成課
環境部	環境保全課、廃棄物減量推進課、施設課、東部クリーンセンター
交通局	総務課
水道局	水道施設課
教育委員会	スポーツ振興課、学校保健課、図書館、早岐地区公民館、中部地区公民館、愛宕地区公民館、吉井地区公民館、世知原地区公民館

環境法規制の該当がある施設、機構改革や庁舎移転のあった施設、その他事務局において、現在の取組状況や業務における環境への影響、過去の内部監査結果等を勘案し、今年度監査する必要があると判断した課かいを対象としました。

### (3) 監査チーム

内部環境監査員8名により2チームを編成（1チームあたり2～3名）

### (4) 監査の内容

佐世保市環境マネジメントシステムとの適合状況や日々の取組状況等について確認しました。監査チームは、主に以下の項目について監査を実施しました。

監査項目	主な点検内容
省エネ省資源行動	省エネ省資源行動等について、取組目標が適切に設定され、効果的に実施されているか
環境投資	設備機器の省エネ化や環境負荷の少ないエネルギー利用等が検討・実施されているか
環境法規制等	適用を受ける法規制等が順守されているか
公共工事の環境配慮	点検マニュアルの対象工事について、点検が適切に実施されているか
取組状況の評価	取組状況の確認や評価が適切に実施されているか
是正対応	課題に対して適切な是正が実施されているか
研修の実施	適切に職場研修が実施されているか、理解度は十分か

## (5) 監査結果

要改善事項 22件（14課かい）

### 「要改善」事項の内容

#### a. 省エネ省資源行動

冷房機器やOA機器の適正管理に係る取組について、不在時のストーブの使用や離席時にディスプレイがついたままのPCがあり、適切に使用できていなかった。

#### b. 環境投資

要改善の指摘はありませんでした。

#### c. 環境法規制等

フロン排出抑制法に係る対象機器の特定漏れ、簡易点検の未実施・記録簿の未作成等。駐車場に県未来環境条例（温暖化防止関係）に基づくアイドリングストップ周知の掲示がない、同条例（騒音関係）に基づく対象機器の未届け。産業廃棄物の不適切な保管（保管場所の表示）等がありました。

#### d. 公共工事の環境配慮

要改善の指摘はありませんでした。

#### e. 取組状況の評価

実行委員個人の確認のみで評価していた。課長評価を実施されていなかった。取り組み結果の共有について、前回の内部監査の指示事項がいまだに未対応になっていた等の課かいもありました。

#### f. 是正対応

部長評価、内部環境監査等において是正指示、指摘等があったにも関わらず未対応や一時的な改善にとどまったのみ等改善がされていない状況がありました。

#### g. 研修の実施

同一課ではあるが、別施設に配置された職員への職場研修が未実施であったり、研修実施の認識がなかったりする課かいがありました。

### 改善措置等

監査においては、14課かいにおいて22件の「要改善」の判定がありました。「要改善」の指摘事項に対しては、監査対象課から適切な改善措置の実施、もしくは、改善計画が出されています。

## (6) まとめ（監査結果を踏まえ）

本市では、平成25年度からISOの規格によらない独自の環境マネジメントシステムを運用し、それに伴う内部監査実施は5回目となり、今回の監査で、すべての課かいにおいて独自のシステム運用における内部環境監査の実施を終えました。

監査における「要改善」としては、各課の認識不足や是正指示事項への未対応が多く見受けられました。また、環境法規制等の項目としては「フロン排出抑制法」についての「要改善」が多く見受けられました。これまで、EMS研修や通知文書で周知を行う他、内部環境監査での確認等により、理解向上に努めてきましたが、各課での取組徹底には至っていません。ただし、同法律が平成27年4月に施行され、29年度で3年目となり、監査での要改善件数自体は減少してきています（平成27年：12件、平成28年：7件、平成29年：6件）。今後も引き続き、継続



した周知徹底を図っていくこととします。なお、担当者異動等による遵守漏れを防ぐため、平成29年度に各課の機器設置状況一覧を庁内で情報共有を行い、各課における該当機器の把握が容易になるように改善を行いました。今後もこの一覧を更新するなどし、各課の認識を深めていきます。

監査においては、「要改善」の判定を受けた事項は、他の課かいにおいても起こりうる可能性があります。同様の事項が発生しないよう、職員への周知にて再発防止に努めることとしました。

エコプラン（第3次改訂版）の計画期間は平成29年度で最終となり、平成30年度からはエコプラン（第4次改訂版）がスタートします。新たなエコプランにおいては、省エネ機器の導入や省エネ行動による削減成果を重視することとしており、内部環境監査においても、施設管理等における環境への影響や、エネルギー使用量等の削減状況をより重視していきます。

## 6. 平成29年度実績における評価

平成29年度温室効果ガス排出量は、基準年度に比べて削減できています。部門別に見ると、全部門で基準年度より排出量が減少している状況です。昨年度はごみ処理事業のみ基準年度比で排出量が増加となっていました。今年度はごみ処理事業も排出量が基準年度と比べて減少しており、増減率は-23.88%削減となりました。原因としては、廃プラスチック焼却量の減少、灰溶融施設の故障に伴う稼働停止、降水量減少に伴う浸出水処理施設の運転日数の減少、以上の3点により温室効果ガス排出量が大きく減少することとなりました。

各部局における環境活動の取組目標の達成状況については、「高効率な設備機器の優先導入」、「低燃費車の導入」の項目など先導的な取組みについては予算等の兼ね合いから該当しない部局も多く、一部の部局で取組みがなされている状況となりました。その他「業務の効率化、労働時間の短縮」、「事務用紙使用量の抑制」、「廃棄物の削減、リサイクルの推進」に関して不十分となった部局がいくつかありました。「ノーマイカーデーの実施」に関しては公共交通機関等の影響・その他の事情で実施が難しいとのことで不十分となった部局もありました。全体としては、多くの部局で環境活動の取組目標は概ね実施されていました。

平成30年度からのエコプラン（第4次改訂版）に基づく取組に関しても、研修、内部監査を実施し、システムの継続的な改善を図っていきます。

## 7. 総括

平成25年度から5年間、エコプラン（第3次改訂版）に基づき温室効果ガス削減に取り組ましました。その結果、基準年度である平成22年度と比較して、温室効果ガス排出量-28.27%削減を達成することができました。しかしながら、その中身を見ると、削減要因の主な要因は①廃プラスチック焼却量の変動、②総合病院の独立行政法人化によるエコプランの対象外化、③下水道事業における施設の民間委託によるエコプランの対象外化などであり、環境活動の取組以外が上位を占める形となりました。取組みとして行ったこととしては、市役所本庁舎・環境センターのESCO事業による省エネ化の影響やし尿処理施設での運転改善等から大きくエネルギー使用量等を削減できたものもありました。

以上のことから、各課での省資源・省エネルギー行動も重要ではあるが、温室効果ガス排出量の大幅な削減という点で考えると、ハード面（設備機器）の省エネルギー化やエネルギー使用量等が大きい施設での機器運用改善での省エネルギー化を進めることが全体への影響も大きく、効果的であると考えられます。

各課かいでの環境活動の取組に関しては、取組目標設定、目標達成のための実施が必ずしもエネル

ギー等使用量の減少に直接的に繋がっていないところもありました。

平成30年度からの新しいエコプラン（第4次改訂版）においては、エコプラン対象外としていた指定管理施設等も含めての計画とし、市の施設全体での温室効果ガスの削減に取り組むようにしています。また新たな取り組みとして、設備機器導入指針、施設運用マニュアルを策定し、機器導入時からの省エネルギー化、機器運用改善での省エネルギー化を強く推し進めていくようにしています。各課かいでの取組みに関しては、平成30年度からは、今まで以上に数値（エネルギー使用量等）に重点を置いた取組みを行うよう変更しています。

各部署における環境活動の取組目標の達成状況(「様式3」 部署環境活動総括シート)の集約

部署名	区分	省エネ行動					施設における省エネルギー化			環境負荷の少ないエネルギー利用		公用車における省エネルギー化			その他						環境法規制等の遵守	公共工事の環境配慮
		冷暖房機器の適正管理	照明機器の適正管理	OA機器の適正管理	その他機器の適正管理、利用	業務の効率化、労働時間の短縮	高効率な設備機器の優先導入	設備機器の効率的な運転管理	建築物の省エネルギー化の推進	再生可能エネルギーの優先導入	ごみ焼却施設等から発生する余熱の有効利用	エコドライブの徹底	効率的な運行管理	低燃費車の導入	事務用紙使用量の抑制	節水	廃棄物の削減、リサイクルの推進	グリーン調達の推進	ノーマイカーデーの実施	イベント等における環境配慮		
基地政策局	達成度	100	100	100	100	80	-	-	-	-	-	-	100	-	100	100	100	100	80	-	-	-
	区分の平均	96					-			-		100			96						-	-
行財政改革推進局	達成度	100	100	100	100	100	-	-	-	-	-	-	100	-	100	100	100	100	80	-	-	-
	区分の平均	100					-			-		100			96						-	-
企業立地推進局	達成度	100	100	100	100	100	-	-	-	-	-	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	区分の平均	100					-			-		100			100						100	100
防災危機管理局	達成度	100	100	100	100	80	-	-	-	-	-	100	100	-	100	100	100	90	80	100	-	-
	区分の平均	96					-			-		100			95						-	-
契約監理室	達成度	100	95	90	100	100	-	-	-	-	-	100	-	-	100	100	100	100	40	100	-	-
	区分の平均	97					-			-		100			90						-	-
企画部	達成度	94	95	91	98	90	80	100	80	-	-	96	95	90	91	97	92	94	90	91	100	-
	区分の平均	94					87			-		94			93						100	-
総務部	達成度	80	98	92	92	88	-	-	-	-	-	90	100	100	94	98	94	98	85	-	100	-
	区分の平均	90					-			-		97			94						100	-
財務部	達成度	100	95	88	96	88	100	100	90	100	-	94	98	80	87	100	97	98	90	80	100	-
	区分の平均	94					97			100		91			92						100	-
観光商工部	達成度	98	95	90	91	55	-	100	-	-	-	93	98	-	90	98	93	95	93	95	100	-
	区分の平均	86					-			-		95			94						100	-
農林水産部	達成度	92	96	92	94	90	93	95	87	80	-	92	98	90	90	94	74	92	92	93	100	-
	区分の平均	93					91			80		93			89						100	-
都市整備部	達成度	99	99	97	97	83	100	-	100	-	-	99	99	100	87	100	100	100	80	100	100	100
	区分の平均	95					100			-		99			95						100	100
土木部	達成度	100	90	95	95	85	-	-	-	-	-	98	95	-	98	90	90	90	85	80	100	100
	区分の平均	93					-			-		96			89						100	100
港湾部	達成度	85	90	100	100	80	80	100	-	-	-	100	100	80	90	100	95	100	80	80	100	100
	区分の平均	91					90			-		93			91						100	100
市民生活部	達成度	93	97	93	95	90	87	97	80	-	-	95	96	91	93	99	94	97	75	100	100	-
	区分の平均	93					88			-		94			93						100	-
保健福祉部	達成度	95	98	88	92	81	89	100	83	-	-	95	93	85	89	100	92	96	80	92	91	-
	区分の平均	91					91			-		91			92						91	-
子ども未来部	達成度	95	90	85	80	83	80	85	80	-	-	87	80	80	67	88	87	92	82	80	100	-
	区分の平均	87					82			-		82			83						100	-
環境部	達成度	96	98	88	98	94	85	94	93	-	80	95	96	89	94	98	98	98	86	97	94	100
	区分の平均	95					91			80		93			95						94	100
会計管理室	達成度	100	100	100	90	90	-	-	-	-	-	-	-	-	100	100	100	100	100	-	-	-
	区分の平均	96					-			-		-			100						-	-
消防局	達成度	83	92	84	97	91	-	97	-	-	-	94	97	100	85	92	96	90	84	95	100	-
	区分の平均	89					97			-		97			90						100	-
交通局	達成度	100	95	90	100	40	100	90	100	-	-	90	100	-	85	100	100	100	80	-	100	-
	区分の平均	85					97			-		95			93						100	-
水道局	達成度	93	94	95	94	88	94	91	90	95	-	98	93	85	84	95	93	96	91	100	100	100
	区分の平均	93					92			95		92			93						100	100
教育委員会	達成度	88	95	93	99	91	75	95	83	-	-	96	96	62	91	95	98	95	80	92	100	100
	区分の平均	93					84			-		84			92						100	100
議会事務局	達成度	100	90	80	90	80	-	-	-	-	-	100	80	90	100	100	100	90	80	-	-	-
	区分の平均	88					-			-		90			94						-	-
選挙管理委員会事務局	達成度	100	100	100	90	100	-	-	-	-	-	-	-	-	100	100	100	100	100	100	-	-
	区分の平均	98					-			-		-			100						-	-
監査事務局	達成度	100	100	100	100	100	-	-	-	-	-	-	-	-	100	100	100	100	100	-	-	-
	区分の平均	100					-			-		-			100						-	-
農業委員会事務局	達成度	100	100	100	90	100	-	-	-	-	-	90	100	-	100	100	80	100	80	100	-	-
	区分の平均	98					-			-		95			93						-	-